【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成19年6月14日(2007.6.14)

【公表番号】特表2006-526789(P2006-526789A)
【公表日】平成18年11月24日(2006.11.24)
【年通号数】公開・登録公報2006-046
【出願番号】特願2006-515119(P2006-515119)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｎ　23/08　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｎ　23/08

【手続補正書】
【提出日】平成19年4月19日(2007.4.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５２】
図６は、図５の６－６線からみた光学系の断面図である。本発明によれば、Ｘ線光学系６６は大口径のＸ線光学系を備えている。一般的には方位角Φ（図２を参照）が約３０°から約４０°、例えば３６°である、図３に示され、これに関連して記載された光学系１４とは異なり、図６に示すように、大口径の光学系６６は約４５°より大の方位角を有していてもよい。光学系６６はローランド円面内に、ローランド円の半径R_Oの２倍の曲率半径を有している。本発明の一態様では、光学系６６の方位角は約９０°より大であり、約１８０°より大であってもよい。例えば、図５に示された実施形態では、光学系６６は約３６０°の方位角Φを備えていてもよく、すなわち、光学系６６は完全な円形でもよい。図６に示されるように、光学系６６のトロイダル半径ｒは$2R_O sin^2(\theta_B)$に等しい。また、本発明は、光学系６６は上記に組み込まれた「An optical Device for Directing X-rays having a Plurality of Optical Crystals」という名称の米国特許仮出願に記載の光学系の１つを含んでいる。